

# 日本生糸の 世界生糸市場への参入は なぜ成功したのか

群馬県立世界遺産センターは、令和2（2020）年6月に世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」のガイダンス施設、及び調査研究施設として開設しました。愛称を「世界を変える生糸の力」研究所（略称：セカイト）として5年間、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」をはじめとした、蚕糸業の研究を行ってきました。

本シンポジウムでは、幕末の開港から世界市場を席巻するようになっていく日本の生糸が、いかに世界で受け入れられていったのかについて外部講師を交え考えます。

ペリー提督・横浜上陸の図（横浜開港資料館蔵）

日時 令和7年12月13日（土）

13:00～16:30（受付開始は12:30から）

会場 富岡製糸場西置繭所

〒370-2316 群馬県富岡市富岡1-1

定員 先着100名（無料・要事前申込、詳細は本誌面下部を参照）

## プログラム

講演1 「群馬の生糸が国際市場へ」

西川 武臣 氏（横浜開港資料館館長）

講演2 「生糸直輸出の試みとその意義」

佐藤 有 （群馬県立世界遺産センター研究員）

シンポジウム コーディネーター 石井 寛治 氏（東京大学名誉教授）

登壇者

講演者

## 申込方法

・シンポジウムに参加する方は①若しくは②の方法で、事前の申込みが必要になります。

・①「ぐんま電子申請システム」二次元コード、②Eメールの場合は下記メールアドレスに「氏名」「電話番号」「参加人数」を明記して送信してください。

Eメールアドレス sekaiisan@pref.gunma.lg.jp

※申込締切12月10日（水）

【申し込み】  
ぐんま電子申請受付  
システムへ▼



問合せ

主催：群馬県立世界遺産センター TEL 0274-67-7821 FAX 0274-67-7822

共催：富岡市